

2008 年度国立天文台研究会 第 21 回理論天文学宇宙物理学懇談会シンポジウム
理論天文学の将来
口頭講演プログラム

(2008 年 12 月 15 日～17 日 国立天文台三鷹大セミナー室)

※(R)はレビュー講演、他は一般講演

※(25+10)は講演 25 分+質問 10 分を示す。

2008 年 12 月 15 日 (月曜)

惑星(12:30-14:10) 座長: 伊藤 孝士(国立天文台)

12:30～13:05 原始惑星系・デブリ円盤の観測(R)
深川 美里(大阪大学) (25+10)

13:05～13:40 太陽系の惑星形成に関するレビューと未解決問題(R)
玄田 英典(東京工業大学) (25+10)

13:40～14:55 原始惑星系円盤内に存在する惑星周囲の粒子軌道
武藤 恭之(京都大学) (12+3)

14:55～14:10 Long-term dynamical evolution of Haumea's collisional family in the Kuiper belt
P. Lykawka(神戸大学) (12+3)

(15 分休憩)

太陽(14:25 - 16:05) 座長: 横山 央明 (東京大学)

14:25～15:00 対流層-コロナ結合の MHD シミュレーション(R)
磯部 洋明 (京都大学) (25+10)

15:00～15:35 天体風としての太陽風(R)
鈴木 建 (東京大学) (25+10)

15:35～15:50 分裂性磁束管の浮上による太陽面現象の駆動過程
真柄 哲也 (国立天文台) (12+3)

15:50～16:05 非対称磁気リコネクションと電子加速
岡 光夫 (アラバマ大学) (12+3)

(15 分休憩)

宇宙論(16:20 - 18:00) 座長: 濱名 崇

16:20～16:55 宇宙論の展望(R)
小松 英一郎 (テキサス大学) (25+10)

16:55～17:30 宇宙背景放射偏光観測によるインフレーション宇宙の検証(R)
羽澄 昌史 (KEK) (25+10)

17:30～17:45 N 体シミュレーションに基づくバリオン音響振動の精密モデリング
西道 啓博 (東京大学) (12+3)

17:45～18:00 超大規模シミュレーションで探る矮小銀河問題
石山 智明 (国立天文台) (12+3)

12 月 16 日 (火曜)

星間・星形成(9:30 -- 11:10) 座長: 富阪 幸治 (国立天文台)

9:30 – 10:05 大質量星の形成(R)

細川 隆史 (国立天文台) (25+10)

10:05 – 10:40 星間磁気流体乱流の統計則、駆動機構と天文学的役割(R)

井上 剛志 (国立天文台) (25+10)

10:40 – 10:55 星形成における磁場と乱流の効果

中村 文隆 (新潟大学) (12+3)

10:55 – 11:10 遷移状態にある星周円盤における散乱偏光

福江 翼 (京都大学) (12+3)

ポスターセッションと昼食 11:10 -- 13:00

恒星(13:00 -- 14:40) 座長: 梅田 秀之 (東京大学)

13:00 – 13:24 星の進化と超新星元素合成: 現状と課題(R)

前田 啓一 (東京大学) (18+6)

13:24 – 13:37 AGB 超新星爆発における元素合成

和南城 伸也 (東京大学) (10+3)

13:37 – 14:01 超新星ニュートリノに関する現状と課題(R)

吉田 敬 (国立天文台) (18+6)

14:01 – 14:14 Stellar Evolution at Low-Metallicity

須田 拓馬 (Keele 大学) (10+3)

14:14 – 14:27 Finite size effects on quark-hadron

安武 伸俊 (国立天文台) (10+3)

14:27 – 14:40 非熱的ニュートリノで探る星の強磁場

堀内 俊作 (東京大学) (10+3)

(15 分休憩)

銀河(14:55 -- 16:45) 座長: 川勝 望 (国立天文台)

14:55 – 15:30 高精度銀河形成シミュレーション時代の幕開け(R)

斎藤 貴之 (国立天文台) (25+10)

15:30 – 16:05 観測で明かす銀河の構造の進化(R)

秋山 正幸 (東北大学) (25+10)

16:05 – 16:25 Constraining feedback by satellite galaxies

岡本 崇 (筑波大学) (15+5)

16:25 – 16:45 銀河中心領域での複数大質量ブラックホール系の進化

岩澤 全規 (東京大学) (15+5)

(15 分休憩)

総会(17:00 -- 18:00)

懇親会(18:00 --) 於コスモス会館

12月17日(水曜)

高エネルギー1 (9:15 -- 10:20) 座長: 固武 慶 (国立天文台)

9:15 – 9:50 星の重力崩壊に伴う爆発的天体现象(R)

鈴木 英之 (東京理科大) (25+10)

9:50 – 10:05 重力崩壊型超新星における定在降着衝撃波の不安定性の三次元数値解析

岩上 わかな (東北大学) (12+3)

10:05 – 10:20 相対論的磁気リコネクションにおける相対論的アウトフロー生成の可能性について

高橋 博之 (千葉大学) (12+3)

(15分休憩)

高エネルギー2 (10:35 -- 11:40) 座長: 大須賀 健 (国立天文台)

10:35 – 11:10 高エネルギー天体现象の未解決問題と将来観測計画(R)

浅野 勝晃 (東京工業大学) (25+10)

11:10 – 11:25 最高エネルギー宇宙線とバースト天体

村瀬 孔大 (京都大学) (12+3)

11:25 – 11:40 Implications to Sources of Ultra-high-energy Cosmic Rays

from their Arrival Distribution 高見 一 (東京大学) (12+3)

ポスターセッションと昼食 (11:40 -- 13:30)

パネルディスカッション (13:30 -- 15:00) 理論天文学の将来像 --- 観測からの期待と理論の展望

立松 健一 (国立天文台)、谷口 義明 (愛媛大学)、観山 正見 (国立天文台)、

梅村 雅之 (筑波大学)、牧野 淳一郎 (国立天文台)

引き続き同じ会場で、国立天文台天文シミュレーション・プロジェクト・ユーザーズ・ミーティングを開催します。